令和6年 湖西市議会9月定例会

市長あいさつ

令和6年9月3日

おはようございます。

本日から、令和6年9月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

この1週間ほど、全国各地で猛威をふるった台風10号では、市内においても倒木や道路の冠水、土砂流出など、のべ27件の被害が発生しました。今回の台風は速度が遅く、8月27日から9月2日にかけて、長期間にわたり市内で断続的に大雨警報や土砂災害警戒情報が発令されるなど、皆様も大変ご心配されたことと思います。

また、8月8日には、日向灘において最大震度6強を伴う、マグニチュード7.1の地震が発生、翌日には神奈川県でも地震がありました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。同日に「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が気象庁より発表され、リモートで危機管理部局と連携を取りながら、24時間の事前配備体制をとるとともに、市民の皆様へ、同報無線やdボタン広報、公式LINEなどの様々なメディアを使って「地震への備え」などの防災の呼び掛けをさせていただきました。

日向灘沖地震、台風10号といった災害が相次ぐ中、改めて災害への備えの重要性を強く感じております。今後も気を緩めることなく、市としてももちろん、市民の皆さまにも、平時から防災対策の強化を呼び掛けていきたいと思っております。

一方で、今年は県内でも気温が40度を超える地域もあり、例年以上に暑い夏となりました。9月に入っても厳しい残暑は続いています。市内13か所には、公共施設やドラッグストアなどのご協力を頂き、クーリングシェルター（涼みどころ）を設置させて頂いており、お気軽に休憩所としてご利用いただくとともに、お家の中での熱中症が多発していることから、引き続き適切なエアコンの使用や水分補給をお願いします。

（観光・にぎわい）

さて、今年は昨年以上に、県内外から多くの皆さまが湖西市・浜名湖へ訪れ、楽しんでいただけたことと思っております。

7月には新居弁天海水浴場の海開きや浜名湖ミナトリングに加え、2年ぶりに浜名湖・キューバヘミングウェイカップが開催され、多くのアクティビティ、ステージイベントで盛り上がりを見せました。今切体験の里「海湖館」では、例年のように「うなぎのつかみどり」やバーベキューを楽しむ多くの家族連れで賑わい、今年新たにオープンした浜名湖パークビレッジではキャンプ場の利用者や、ドッグランを利用するペット連れが増え、本年度も7月末時点で約14万7,000人と多くの方が新居弁天地域を訪れており、新たな人の流れ・賑わいが生まれつつあると実感しております。

また、浜名湖花博の会期中、海湖館や浜名港から浜名湖ガーデンパーク会場とを舟で結んだ「舟運」は、観光協会による新たな実証実験が7月から始まり、8月25日時点で206名の方が利用しております。かつての「今切れの渡し」のルートを辿り、新居の街な

かの水路をめぐるコースなど、景観やまち歩きを楽しめるよう、新たな観光資源掘り起こしの取組を始めています。浜松浜名湖ツーリズムビューローにより、観光アンバサダーの乗船体験や YouTuber による撮影なども行われました。PRも継続しながら、ハード面では棧橋の増設など、県とも連携し、継続して観光資産として定着するよう努め、新居弁天地域が観光・地域経済活性化の拠点となり、さらなる賑わいを創出できるよう、環浜名湖地域と連携した観光・産業の振興を進めてまいります。

地域のにぎわいといえば、第29回湖西おいでん祭が、9月28日にボートレース浜名湖で開催されます。熱中症への配慮等から、時期を9月下旬にさせていただいており、当日は、恒例となっている「湖西音頭」をはじめとする市民総踊りのほか、市民の皆さんによるダンスなどの歌やステージイベント、働く車の展示、遠州新居手筒花火保存会による「子ども手筒花火体験」、静岡ブルーレヴスや三遠ネオフェニックスなどのプロスポーツ団体による体験イベントなど、多彩な催しが用意されています。また同日の夜に湖西湖上花火も開催予定であり、昼から夜まで、去り行く夏を楽しんでいただければと思います。

また、消防フェスタと環境フェアも同時開催されます。消防士の仕事や訓練が体験できるほか、今年、静岡県消防操法大会で初優勝し、全国大会へ初出場する湖西市消防団チームによるポンプ車操法訓練が披露されます。

環境フェアでは湖西環境保全協議会40周年記念事業として、湖西市ふるさと大使で気象予報士の田中健太郎さんと、湖西おいでん祭で司会を務めていただく小沼みのりアナウンサーによる、環境に関するトークショーが開催されます。多くの皆さまにぜひ足をお運びいただければと思います。

（ペアーズ婚活支援、少子化対策）

さて、夏が終わりを迎えつつある中、新たな事業も始まっています。

少子化の原因の一つである未婚・晩婚を解消する、人口減少対策の一環として、時代に即し、マッチングアプリ「ペアーズ」を活用した婚活支援事業を開始しました。湖西地区労働者福祉協議会などのご協力もいただき、市内企業に在勤する独身の皆さんに向け、初めての方でもマッチングアプリを安心して利用できるよう、オンラインセミナー開催の周知をさせていただいております。結婚を希望している皆さんに、出逢いの機会を創出し、結婚への後押しをすることで、将来の定住と出生数の増加へつながることを期待しています。

（新所子育て支援センター）

市内2か所目となる地域の子育て支援の拠点として、旧新所幼稚園の改修による新所子育て支援センター（仮称）の整備が進んでいます。就学前のお子さんに自由に遊んでいたただけの広場の運営などに加え、「子どもの発達」特に発達障害に関する相談への初期支

援を行える中心施設となるよう、令和7年1月のオープンを目指しているところです。8月1日から30日まで愛称の公募を行ったところ、63名の方からご応募をいただき、ありがとうございました。呼びやすく、皆様に親しまれるような名前となるよう選考委員会で決定して、決まり次第お知らせさせていただきます。

（中学生給食費無料化）

10月から、子育て世帯の負担軽減による、選ばれるまちを目的として、中学校の給食費を無償化いたします。併せて、特別支援学校中等部に在学する生徒の保護者には、給食費相当額を補助します。

また、物価高騰対策として、今議会でご審議をお願いしておりますが、物価高騰下においても保護者の負担を増やすことなく、市が食材料費の価格上昇分を補助することで、栄養バランスや量を保った学校給食等を実施していきたいと思っております。

小中学校の給食では、各学校に「ふるさと給食」時間を設け、こさいの豚肉、しらす、うずら卵など、湖西市産や静岡県内産の食材を使用した給食を提供しています。食材の紹介コーナーも設置し、食育の観点からも地場産品に親しんでいただく取組を行っています。また、令和9年4月の学校給食センターの供用開始を目指し、優先交渉権者も決定したことから、計画的に整備と運営準備を進めてまいります。

（一日こども市長体験）

子どもたちには、市長の仕事や市の課題、取組みなどを知っていただき、興味や親しみをもってもらうため、昨年度に続き小学生による「一日こども市長体験」を8月6日に実施しました。応募いただいた29名の中から、当日は選ばれた6名にご参加いただき、湖西警察署や消防署、湖西病院への訪問、議会での登壇体験、お昼には湖西市産の食材のお弁当、そして「私が市長になったら」というテーマで、実際に記者発表と記者会見を体験していただきました。「笑顔がいっぱいの市」という夢を語る子どもや、子育て、観光や環境問題などを様々な切り口で、自分の意見をしっかりと述べる子どもたちの姿を見て、これからの湖西市を担っていく世代に、非常に頼もしさを感じました。今後も、ふるさと「こさい」に愛着を持ち、未来のまちづくりに関心を持ち続けて頂けたらと思っています。

また、9月17日には、スズキ株式会社様のご協力のもと、市内の中学3年生を対象に、未来への夢と希望を持つきっかけづくりとして、鈴木俊宏社長による特別授業を実施いたします。日本を代表する企業の社長にご講演いただき、展示も体験しながら、世界に誇る技術をもつ企業が身近にあることを理解し、誇りを持ってもらうことで、生徒たちのこれからのキャリア形成の一助となることを期待しています。

(持続可能な未来へ、ゼロカーボンシティ)

電動化（EV化）が進む自動車産業を中心に製造業が基幹産業である本市にとって、カーボンニュートラルへの取組は行政としての重要な責務です。

次世代自動車普及促進のため、EV充電インフラ拡充の取組の一環として、7月30日にTerra Charge株式会社と「電気自動車充電設備の整備の推進に関する連携協定」を締結させていただきました。具体的には、市の負担なしで、Terra Charge株式会社がEV充電インフラの設置可能性調査、設置、メンテナンスを行うものです。EV充電インフラ拡充による次世代自動車の普及促進により、ゼロカーボンシティを推進してまいります。

また10月1日には、トヨタバッテリー株式会社の出発式が執り行われます。ゼロカーボンシティにおける、次世代の車載用電池の一大生産拠点として、また子どもたちを中心とした工場見学など、モノづくり人材の育成に向けて、市としても引き続き伴走しながら支援してまいります。

(水道料金時間帯別料金実証実験)

今後の水道料金制度の検討のため、今年も一橋大学と協力し、入出・知波田地区の約1300戸の希望者を対象に、水道スマートメーターを活用した時間帯別料金の実証実験を実施します。実験期間は9月27日から10月10日までの2週間であり、267名の方から実験への参加希望・協力への応募をいただいています。

昨年度の実証では「オフピーク時間の水道使用に対する料金割引」が利用者に与える効果を確認しましたが、今年は「ピーク時間の料金増加」が使用者に与える影響まで調査を行います。時間帯ごとに適切な料金を設定することで、ピーク時、オフピーク時の水道利用量の差を減らし、配水量の平準化による持続可能で効率的・効果的な事業運営を目指していきます。

(ふるさと納税)

浜名湖産うなぎや伸東ヒラメ、最近では湖西市産の豚肉などの返礼品でご好評いただいている湖西市のふるさと納税ですが、このたび、県内で初めてタブレットを用いた「現地決済型ふるさと納税」を導入しました。市内のゴルフ場フロントで、タブレット端末に寄付者の情報を入力し、決済いただくと、その場で返礼品としてグリーンフィ（ゴルフコース利用料）の割引券を受け取り、ご利用いただける仕組みです。8月22日時点の累計で14件、120万円と順調に伸びており、今後はゴルフ場のほかにも、体験施設や飲食店などへの導入検討を進めてまいります。そのほか、当市ならではの返礼品の充実やWEB広告を活用した認知度向上など、様々な取り組みや工夫を重ね、地域の魅力発信を強化し、寄附者の利便性を高めることで、寄附額の増加を目指してまいります。

(新庁舎など公共施設)

さて、9月1日には新居地域センターがリニューアルオープンし、バリアフリーやトイレが真新しくなり、利便性が向上したほか、消防防災センターは、令和8年度の供用開始に向けて工事が本格化しています。市役所新庁舎についても、文書量の調査や、企画部内でのフリーアドレスの試行といった、新たな調査・検討が始まりました。また、市民の皆さんと共に基本計画策定に向けたワークショップを開催し、のべ27人の皆さんに参加頂いております。ワークショップでは、建設候補地や集約する施設などについて、世代やそれぞれの立場から意見交換を行い、「施設の集約は利点大きい」というご意見のほか、「今の時代に合った機能を持った庁舎に」や「湖西市のシンボルになるようなものへ」といった前向きなご提案も頂きました。

今後も新庁舎の機能、規模、窓口の配置などをテーマに議論を重ねていく予定であり、頂いたご意見については、基本計画策定のため活用させていただきます。

そのほか、先ほどの給食センターや湖西病院、各学校・園などの公共施設の再編・複合化についても、計画に則って着実に進めていきます。

(結び)

今年は、1924年に豊田佐吉翁が無停止杼換式豊田自動織機、いわゆるG型自動織機を発明してから100年目となります。数々の発明の中でも、世界各国に輸出され、「マジックルーム（魔法の織機）」とも称され、のちに自動車産業に進出するきっかけともなったと言われる画期的な発明。その過程での幾多の困難や、それを乗り越えるためのチャレンジに改めて思いをさせ、敬意を表するとともに、佐吉翁に続くような人材が育ち、地元や世界で活躍するよう、佐吉翁の言葉である「報恩創造」や「障子を開けてみよ、外は広いぞ」といった言葉をまちづくりの基本理念とし、モノづくりによる人づくり、人づくりを通じたまちづくりへ、ともに邁進していきましょう。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、補正予算、決算認定など合計30件です。議員の皆様方におかれましては、引き続き、「職住近接」の推進による湖西市の持続可能な発展に向け、建設的かつ前向きなご提案やご議論をお願いし、私のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

以 上